

学校教育目標：よりよく生きぬく力《たくましい子・考える子・思いやる子》

釜小だより

瑞浪市立釜戸小学校 学校だより NO5
令和5年 7月20日(木)
校長 山田 隆二

あっという間に1学期が終わり・・・夏休みスタート

令和5年度の1学期が終わります。振り返ってみるとあっという間に感じますが、釜戸小学校での70日は子供たちにとっても、保護者様にとっても、地域の皆様にとっても、そして、私たち教職員にとっても大変充実していたのではないかと思います。その分、時間がたつのも忘れて没頭する場面が多かったということだと思います

子供たちは、授業はもちろん、地域の方に本当に学びを支えていただきました。教科書を使って学ぶことは言うまでもなく大切なことです。私たち教職員もプロ意識をもって授業を行っています。そして、子供たち同士のトラブルも、当然ある姿ととらえ指導をしています。しかし、それに加え、釜戸小学校の子供たちは、地域の方に支えられて成長を続けています。

4月の交通安全教室から始まり、7月の「中山道の話 釜戸・大湫の歴史の話」まで本当に多くの方にいていただき、子供たちの学びを支えていただきました。

1, 2年生の地域探検の折には、子供たちの姿を見つけて声をかけてくださる保護者の方がありました。「箸置きをつくりましょう！」てのひらに収まるくらいの土を握らせていただき、指の形でできた「箸置き」を作らせてくださいました。また、「茄子のできがよくない」とご自身で育ててみえる苗をおもちいただき、子供の観察や野菜を育てる尊さを続けて学ばせてくださいました。



6年生 ふるさと学習

本当に書き始めるときりがなくらい、地域の方や、保護者の方は「子供のため」というお気持ち強い地域であると再確認しました。本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

また、子供たちにとって、普段の授業も同じくらい成長をしました。釜戸小学校の子供たちは、学んだことを「アウトプット（表現）」することに長けています。どの教室の授業でも「〇〇さんの考えと似ていて…～～です。どうしてかという（わけは）、～～だからです。」さらに、「～～は…～～ですよね？だから…～～になると思います」というように聞き手（説明する相手）を意識した話し方ができるようになっています。教科指導のプロ、ふるさと学習指導のプロ、子育てのプロに囲まれて、とても密度の濃い1学期を過ごしました。本当にうれしいことです。

夏休みに入ります。今年は38日間の夏休みです。子供たちは家庭に帰ります。発達段階に応じて「家族の一員」としての役割を与えてあげてください。きっと、一生懸命に期待に応えると思います。終業式でその話をします。保護者の皆さんは子育てのプロとして、お子さんと話し合って役割を決め、やり方を見て見せながら教え、やれたことを褒め、その成果に感謝の意を伝えるということを繰り返してください。お子さんは「がんばって続けることで認め、褒められ、感謝されること」を学ぶでしょう。保護者の皆さんもチーム釜戸の一員として子供の成長を支えてください。



4年生 高齢者福祉体験

- ・悩みを一人で抱えてはいけません。学校の先生はいつでもあなたのそばにいます。困ったことや相談したいことがあれば家の人や友達や先生等誰でもよいので相談しやすい人に話しましょう。
- ・日中は学校の電話 63-2004 夜間休日は緊急携帯 070-1188-7537
- ・8月7日～10日は学校閉庁日で日直がないので、連絡は瑞浪市教育委員会 68-9833 へお願いします。